

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	乗用車販売店（管理担当）	お客様の様子	・今月になって新型車が発表され、来客数が増えた。販売・受注ともに好調に推移している。モーターショーへの来場も前年並みであった。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・早い寒波の影響で、衣料品、電器関係において客の動きが良い。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・先月からの寒波の影響により、バーゲン前にも関わらず、防寒具の動きが良かった。バーゲン時の来客数は、上旬までは非常に良かったが、長続きはしなかった。必要な物は高額品であっても買うが、必要でない物は全く見向きもしない客が増えた。しかし、購買意欲は上がってきている。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・初売りは他の競合店を含め、過去最高の売上と動員を記録した。中旬以降、厳しい寒さで伸び悩んではいるが、それでも春物プロパー商品の動きが良い。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・このところ、来客数が前年比100%を超える月がなかったが、今日は前年比で102～103%となった。それに伴い、売上も前年比102%程度を確保している。身の回り品、婦人服、食品が好調となっており、紳士服、雑貨関係が若干足を引っ張っている。客単価は若干上昇しているが、一品単価はややダウンしている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は前年を下回っているものの、客単価が上がっており、売上は前年並みである。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価が若干上昇傾向にあり、特に衣料品において高額商品の動きが出てきた。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・紳士物や着物、宝飾品、ヤング婦人雑貨が前年比3～6%増と好調に推移している。一部ミセス婦人服が前年割れとなり、全体として4%増となっている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・購入客数も客単価も徐々に上向ってきている。
		家電量販店（総務担当）	単価の動き	・高機能商品、高額商品へのニーズが高い。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が増加している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	来客数の動き	・燃料油出荷数量は落ち、1人当たりの使用数量は少ないが、来客数は増加している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・燃料油の価格が上昇しており、中でも灯油は高値感が強い。しかし、寒さが厳しいこともあるが、高値であっても買い控えはなく、販売量は前年比を超過している。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・イベントが大盛況で集客力がある。値段が安く、売上にはまだ反映されてはいるが、活気が出てきている。
	都市型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・個人客のインターネット、代理店、直接の電話等での予約が増えている。	
	通信会社（管理担当）	来客数の動き	・年度末にもかかわらず、引き続き来客に切れ目が無い。	
	ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・県外客の増加や韓国からの客が多く、客単価が上がっている。プレー料金が韓国よりも安いいため、韓国の客は正規の値段でプレーをしている。	
	美容室（店長） 設計事務所（所長）	お客様の様子 お客様の様子	・成人式での利用が例年より多かった。 ・様々な計画や企画を考えている客が多くなっている。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・12月同様、寒さにより商店街に来る客が減っている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・物品購入時の決定が遅く、購買意欲が高くない。
一般小売店〔青果〕（店長）		それ以外	・寒波による影響で葉物など特殊なものは高いが、豊富な供給量のあるものに関しては、相場が成り立たないような状況が続いている。	
一般小売店〔鮮魚〕（店員）		来客数の動き	・例年、年明けの来客数は少ないが、今年は特に少ない。	

百貨店（営業担当）	お客様の様子	・前月までは寒波の影響によりクリアランス前の実売期でシーズン商品が好調に動いたが、今月は寒波の緩みで鈍化した。必要な物を必要な時に購入する堅実な購買姿勢が定着している。また、毎回好調の物産催事も新企画を加えないと集客が期待できない。	
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・初売、クリアランスともに前年実績を越え、好調なスタートをしたものの、12月に好調だった冬物衣料の反動減や商品不足もあり、1月は中盤以降、厳しい状況であった。寒さの影響で客足が低迷し、春の商品の需要が大きく上がらない現状である。	
スーパー（経営者）	単価の動き	・年末年始の客単価が落ちている。	
スーパー（店長）	単価の動き	・薄型テレビ等の一部の高額商品の動きは良いが、食品等の単価が下がっている。	
スーパー（店長）	来客数の動き	・先月は寒波の影響で防寒具が好調に推移し、来客数も多かったが、また3か月前の来客数に戻り、前年比96%となった。	
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価も前年を割っているが、来客数ほうが前年を大きく下回っている状況が続いている。	
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・客足の戻りが例年より遅く、低単価で少数購入をする客が目立つ。	
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・例年に比べ、ホットドリンクや肉まん、おでんの売上が上昇し、前年を大きく上回っている。しかし来客数が前年比95%となり、客単価が前年並みであるため、総じて売上は下がっている。	
コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店の売上は前年比15.9%減、コンビニが3.3%増、ローカルスーパーが3.2%減となっている。例年、量販店で年始の初商いがあるが、今年はデパートに多くの客が流れて量販店は客入りが少なく、前年割れをしている量販店が多い。	
家電量販店（店員）	販売量の動き	・デジタル家電の動きが非常に悪く、価格が安くなるのを期待して買い控えがある。	
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客が来店しても、慎重に検討され時間がかかる。	
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・販売量は前年と比べてもほとんど変わらず、この1、2か月と比較しても販売量は増えていない。	
住関連専門店（経営者）	単価の動き	・初売での学童机など大物家具の動きが良くない。	
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・客足が遠のいており、売上が減った。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数も増えず、3か月前と変わらない。	
一般レストラン（スタッフ）	単価の動き	・月始めより、後半のほうで客単価が下がった。	
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・小規模な宴会が多く、客単価も低い状態が続いている。	
タクシー運転手	お客様の様子	・昼の動きが悪く、夜は先月とあまり変わらない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・寒さが厳しいため、日中に出かける客が少なく、繁華街が閑散としている。新年会が極端に少なく、夜の客も少ない。	
タクシー会社（営業担当）	来客数の動き	・今月前半の稼働は良かったが、20日過ぎからその動きは鈍化した。また、タクシーの従業員数が少ない。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・ゴルフが堅調に推移しており、総じて前年並みに推移している。	
観光名所（職員）	来客数の動き	・団体客は前年並みに推移しているが、個人客が大きく減少しており、総じて前年を割っている。	
設計事務所（代表取締役）	お客様の様子	・建設業界は、一部の住宅建設に需要がみられるが、その他は伸び悩んでおり、特に商業施設などの建設は低調である。公共事業は自治体の財政状況から発注が抑えられている。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・中心街にあった商業ビルもまだ再生しておらず、同じく中心街にあった老舗のスーパーも11月下旬に破産したため、来街者が皆無といった状態である。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・ここ数か月の相次ぐ競合店の出店により、来客数がかなり減少している。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・寒さの影響で来客数が減少しており、小売店のみならず飲食店も売上が減少している。

		商店街（代表者）	販売量の動き	・昨年末までは冬物の衣料品が良く動いたが、今年になってバーゲン品の動きが悪い。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・3か月前はブライダルの花一式やお祝いの花束、ブーケなどの注文が数件あったが、1月に関しては注文が全くなかった。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・1月の中旬に昨年成功した販促をかけたのだが、昨年ほど集客が見られなかった。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・福袋やバーゲンでの動員は例年以上だったが、買上に結びついていない。冬物衣料は、12月に好調であった反動により、低調に推移している。生産限定の影響で、在庫が前年を大きく下回った。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・初売は好調だったが、後半は12月が好調に推移していた反動で、買い控えがみられた。
		百貨店（業務担当）	販売量の動き	・寒波の影響で、12月から衣料品を中心に堅調な動きがあったものの、クリアランスを迎え、スタートこそ良かったが、中旬以降の動きは失速した。全体的に昨年実績すら達成できない状況となっている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・先月の売上が良かった分、そのしわ寄せが来た。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・気温の上昇とともに、冬物商品の動きが悪くなり、食料品も鍋物材料の動きが急に止まった。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・年末はそれなりの販売量があったが、それ以降は前年割れが続いている。
		衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・12月に防寒衣料が好調に推移した分、1月のクリアランスでの在庫が不足し、セールの売上は低調だった。春物は順調に立ち上がったが、クリアランスの低下分は取り戻せなかった。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	来客数の動き	・業界が非常なオーバーストア状態で、客が分散していることもあり、厳しさを増している。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・今年になって急に売上が減少した。寒さの影響もあるが、来客数も少なく、周辺に人の動きがない。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・前年に比べて来客数が低下している。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・寒さや雪の影響により、北海道旅行などスキーツアーの動きが悪い。雪祭り関連は前年比50%程度まで減少している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・正月の帰省客が例年より幾らか多かった。しかし、病院通いの高齢者が減っている。
		通信会社（業務担当）	来客数の動き	・卒業シーズン前の買い控えもあるが、例年より平日、週末ともに来客数が減少している。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・寒さの影響により、来客数が伸びていない。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・販売額、入場者ともに、前年に比べ減少幅が大きい。
	悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・土日は郊外の大規模商業施設に客が集まっており、既存の商店街は人通りが減っている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・大規模商業施設の影響が続いており、近隣商店で6つの閉鎖店が出ている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・正月明けから買い控え傾向にあり、食料品、衣料品などすべて前年比90%前後で推移している。特に衣料品が冬物衣料の仕掛けが遅かったため、動きが悪く前年比79.6%と大変苦戦している。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・新幹線の工事も一段落し、その従業員もいなくなり、来客数が減少した。周囲に競合店もでき、大手がそれに太刀打ちするように個性を出して自主的な経営をやっているが限界がある。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・12月、1月の異常な冷え込みで客足が遠のき、売上が減少している。
企業動向関連	良くなっている	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上が3か月連続で2けたの伸びを示している。
	やや良くなっている	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ホテルの新築等がかなりあり、まずまずの売上が確保できた。ただ、耐震強度偽装の問題やホテルの建築申請の偽装なども発覚したため、出店に慎重な所も出てきている。

	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連の動きが非常に良くなっており、それにつれて機械関係部品も動きが非常に活発になっている。総じて景気そのものは良い方向に進んでいる。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・製造業、特に半導体関連の下請け中小企業や小売業において、設備投資の資金需要があり、それに対する買いの申込等の動きが出てきている。	
	その他サービス業〔物品リース〕（役員）	受注量や販売量の動き	・例年は12月中に1年の締めで契約が大幅に増加し、年が明けて契約がダウンする傾向にあるが、今年は前年を上回るペースで順調に推移している。	
変わらない	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内で発生した鳥インフルエンザの影響もあるが、それ以上に、海外で発生した鳥インフルエンザの影響から輸入ができなくなり、国産需要の要求度がかなり高くなっている。	
	繊維工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注が当社に限らず競争相手でも増えている。それも忙しい時期が中国の旧正月と重なるため、日本で生産せざるを得ないところがある。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が低く、受注数量が限られているので状況としては変わらない。	
	輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・徐々にではあるが、受注が増えている。	
	金融業（得意先担当）	取引先の様子	・取引先は、3月までは仕事の受注は結構あるという状況である。資金需要は今のところ大きな変化はない。	
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・県全体の就業者の64%を占める小売・卸売・サービス業の資金需要が低迷している。特に、短期の運転資金需要が乏しい。	
	経営コンサルタント	それ以外	・契約内容が小額になっている。	
やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	受注量や販売量の動き	・供給している大型店舗や生協等の売上が前年比90%を切っており、まだまだ厳しい状況である。	
	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・品薄感から価格が上昇している。例年のことではあるが、例年よりも価格帯が低い。重油高騰分を吸収できるほどではなく、赤字拡大の懸念が広がっている。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・受注関係はまあまあだが、ガスと原材料の高騰でマイナスがずっと続いている。燃料であるガスのほうは3月くらいまで上がるということもあり、コストの面でなかなか難しい状況である。	
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・新年を迎え新しい案件の依頼があるが、採算が合わない原価で見積りを提出する状態が続いており、利益が出ない。また、銀行の融資が限られており、その額に合わせるために受注し、利益の出る状態ではない。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・先月好調に推移していたが、今月は全くといっていいほど荷動きが悪く、例年の8割ほどであった。	
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・年末にかけて、受注量が大幅に良くなった反動で、今月は伸びが止まり、減少傾向にある。様々な業種においてそのような傾向が見られた。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良く なっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新卒採用以上に、中途採用に求人を出す傾向がある。
		求人情報誌製作会社（経営者）	それ以外	・2003年に県の誘致で大手保険会社のコールセンターを中心とする事務部門が開設されたが、新社屋の建設に伴い人員の増員が予定されている。主に30歳代までの女性の雇用が増大するようであるが、雇用形態はほとんどが契約社員、パート従業員である。低迷気味である高校の新卒女子の雇用はあまり期待できない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・最近の傾向として人手不足感が続いている。特に若いフリーター層の採用が難しくなってきている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数の減少が続いている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は引き続き堅調に推移している。	

	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・高校生の内定者数は全体で5.2%増と、今年度も引き続き大きい伸びを示している。採用者が多くなったのは求人が増えたということが要因のひとつである。大学生もサンプル調査であるが、女性を中心に全体として2.7%ほど上がって53.8%までいっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の増加の動きが堅調である。
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・人材派遣需要に加え、正社員採用の需要が増加している。企業の採用意欲が上向いている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・長期派遣オーダーの15%弱が紹介予定を希望されており、企業の雇用意欲は高くなりつつある。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・企業の広告活動も小休止状態で、今月は模様眺めの状況である。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-